

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 いきいきっ子クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○活動内容によって部屋を分けられること。また、活動に集中が出来るように物を置いていないこと。	○集団療育で、季節の行事や年長児プログラムのような年齢別の療育をおこなっていること。	○保護者の方にアンケート等で協力していただき、地域交流をしていけるといい。
2	○定期的なモニタリングで、お子さんの支援方法の見直し、改善、保護者の困りに対応していけること。	○可能な限り、お子さん一人に対し職員が支援につき、丁寧なサポートができるようにしていること。	○色々な想定をした避難訓練の回数をもう少し増やしていく。
3	○一人ひとりに寄り添い、お子さんの様子に合わせて職員や環境を整え、個別や集団にて支援している。	○お子さんに必要な支援が出来るよう年長児、年長児未満のグループに分かれて活動を提供して。また、情報共有を行い、支援方法について検討する話し合いを随時おこなっている。	○支援時の状況を再度確認し、情報共有しながら支援方法について再度検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○長期休暇時は児童発達支援事業と放課後等デイサービスの開所時間が重なる為、人材確保が難しい。	○長期休暇時の児童発達支援事業と放課後等デイサービスの開所時間が重なり、一度に20名お預かりし、職員の人数配置は変わらない為、普段の支援より手薄になってしまう。	○人員調整としてボランティアやアルバイトをお願いし、安心安全な支援が行えるようにする。たくさんのボランティアが集まり、交流も兼ねて活動が出来るよう、募集を工夫していきたい。
2	○非常時の対応に関して保護者への周知方法の検討をしている。	○年度初めにお知らせしているが、直前のスケジュール掲示や連絡方法の再確認、意識づけが不足している。	○おたよりを通じて、非常時の対応等について周知し、保護者の方が確認できるようにしていく。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきいきっ子クラブ国東(児童発達支援事業)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関等や地域との連携	子ども達が地域でより良い支援を受けられるように、保育所や、保健師等との連携は、常に行ない、会議以外にも情報交換等を行なうようにしている。	保育所等にこちらの支援内容を丁寧に分かりやすく、お伝えすることにより、子ども達が地域でより良い支援を受けられるようにしていく。
2	保護者への研修等の開催	これまでも、ペアレント・プログラムの研修を行ってきたが、保護者向けの研修や交流の場を提供できるようにしている。	これからは、きょうだい児への支援も考慮した保護者会を設けていきたい。
3	それぞれの子どもにあった、療育活動の提供	保育、言語等の多方面から、専門的なアセスメントを行なったうえで、それぞれの子どもに合わせた、療育活動を提供し、振り返りを行なっている。より良い療育活動を提供できるように常に、見直しを図っている。	これまでも実施してきたことではあるが、外部や第三者からのアドバイスをいただきながら、さらにより良い支援を提供できるようにこれからも邁進していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部への発信力	ホームページなどを通じた発信力が弱い。子ども達の支援だけでなく、安全に関することも含めて、保護者や地域に発信していく必要がある。	定期的に発信できるように、年度初めに取り決めを行ない、利用者や保護者の方が安心して利用できるようにしていく。
2	チームでの計画書の立案	チームでの計画書の立案は行っているが、職員の見識量の違いにより、全員の意見交換の難しさも痛感している。	まだ、経験の浅い職員への研修の機会を増やす。発達障がいへの理解・対応など、経験のある職員からの伝達を行なうことで、お互いがステップアップできるように、配慮していく。
3	長期休暇の生活空間の在り方	長期休暇になると、児童発達支援と放課後等デイサービスを一緒に受け入れることになり、日頃、それぞれの確保されていた生活空間のスペースが確保されず、ご利用児としては本来の自分を保てないことがある。	子ども達がそれぞれ有意義な時間を確保できるように、これまで以上に工夫、配慮する必要がある。スケジュールの事前の確認、安心・安全の確保など丁寧にしていきたい。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス いきいきっ子クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 11名
○従業員評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月 31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○感情のコントロールにつまずきのあるお子さんに対して、必要に応じ、クールダウンできる部屋を常に確保している事。 ○様々な職種や人材がいる為、多角的な視点で支援方法等について検討することができる。 ○お子さんの状況に応じて、個別、集団、運動と適宜組み合わせながら個々の目標達成の為、個別支援計画にそって支援をしている。	○マイナスなイメージの場とならないよう日頃から「困った時に大丈夫になる為の場所」=成功体験の積める場所であることをお子さんたちに伝えていく。 ○定期的に話し合いの場を設け、意見が集まるように工夫している。 ○個々のお子さんに対して支援に関わる職員が共通理解をするため、話し合いの場を多くもっている。	○クールダウンとして利用した際、記録を残し、職員間で共有できると良い。 ○他の機関や専門員等とさらに連携を図り、児にとってより良い支援となるようにしていく。 ○引き続き、気になったこと、気が付いたことを職員間で共有し問題解決していく。
2		○主に長期休暇を利用して、保護者の同意のもと郊外活動を取り入れている。	○事前、事後の学習を取り入れることで、活動に対する意欲を高め、自主性を伸ばす。
3	○様々な分野の療育を視野に入れ、「レクリエーション」として楽しく取り組めるよう計画、実施している。	○集団、個別と形態を変えることで充実度を高めている。	○集団に参加できないお子さんに対して、職員が個別対応ができるよう事前に内容を把握しておく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○ホールの使い方、場所が広い分、動きも声も大きくなりがちである。 ○既存の建物をリフォームしての事業所の為、必要と思われる上手く機能出来る環境をつくるのが難しい。	○ホールが広く、声が響きやすい。 ○出来る範囲の改善しかできず、根本からの改善ができていない。	○可能な範囲で構造化、可視化する。 ○既存の建物をリフォームしての事業所の為、色々な不具合も出るためなかなか改善が難しい。
2	○睡眠不足や体調不良のお子さんが休める」場所の確保が十分ではない。 ○職員の高齢化、新卒者の人材が少ない。	○晋段使う方がいない為、緊急の対応に戸惑う。	○個室と布団類の確保をし、職員間で周知する。
3	○カーテンをして対応しているが、トイレが男女一緒の空間である。当然ながら、個室に入ってしまうと職員の目が届かない。 ○長期休暇時は児童発達支援事業と放課後等デイサービスの開所時間が重なる為、人材、物的配置が難しい。	○間違った認識でトイレの個室を使ったり興味本位で見ようとしたり、目に届きにくい所なので対策が立てられていない。 ○長期休暇時の児童発達支援事業と放課後等デイサービスの開所時間が重なり、一度に20名お預かりし、職員の人数配置は変わらない為、普段の支援より手薄になってしまう。	○SSTで正しい認識をもってもらう。気になるお子さんにはトイレに入る前に職員が声をかける。 ○ボランティアやアルバイトをお願いし、安心安全な支援が行えるようにする。たくさんボランティアが集まり、交流も兼ねて活動出来るよう、募集を工夫していきたい。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきいきっ子クラブむさし		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日	～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	16 (対象者数)		16 (回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日	～	2025年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	6 (対象者数)		6 (回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 13日		

○ 分析結果

	<p>事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること</p>	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>毎日の療育内容について、個別支援計画に従いご利用児の強みや、興味や関心に基づいて成長が図れるよう、職員一人ひとりが考え、話し合い活動内容を考案し実施している。</p>	<p>支援について疑問に思ったことや悩みを、職員間で話しやすいように雰囲気づくりを心掛けています。自分達の考えや意見を出し、他の職員はそれを否定するというよりは、自由に意見を出しより良い支援方法を全員で考えていくようにしている。</p>	<p>支援の方針や考え方に偏りがでないように、第三者の意見を取り入れたり各種研修に参加して、職員一人ひとりのスキルアップを図っていく。</p>
2	<p>ご利用児が安心して楽しく通所ができるように、職員間で話し合い、密に支援を必要とする場合は、個別に支援ができるように他の支援者がフォローに回っている。職員間での連携が取れるようにしている。</p>	<p>ご利用児一人ひとりの特性に合わせた活動を職員間で話し合い、活動後も振り返りながら支援に努めている。利用者さん同士のトラブルが起こった際の対応についても、当事者同士のお互いの気持ちを汲み取りながら支援を行っている。</p>	<p>職員間で日々のご利用児の情報共有や支援会議を行い、職員間での対応策等を確認し、ご利用児の小さなサインも見逃さない支援を図っていく。</p>

3	<p>保護者様との情報共有を密にしながら、良好な関係を築いていき、安心して利用していただけるように努めている。</p>	<p>保護者様にはその日起こった出来事等をその日のうちに伝えるように努めている。どのように過ごしているのか、活動しているのかを分かりやすく伝えていく。</p>	<p>職員間で保護者様へ伝える内容についての情報共有をすることで、送迎をする職員が保護者さんへ伝達しやすいようにしていく。また、保護者さんへ送迎時に直接伝達が難しい場合には電話での連絡を行う。</p>
---	---	---	--

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>職員の配置数は適切だが、送迎が重なる場合など、利用者さんへの対応で職員間の連携がうまくいかない場合がある。</p>	<p>送迎が重なる場合があり、そちらに職員が対応を余儀なくされ、他職員のフォローに回れない時等がある。</p>	<p>送迎の見直しや送迎時の職員の支援体制の確認等を行い効率化を図り、職員が余裕を持ち連携して支援できるようにしていく。</p>
2	<p>放課後児童クラブ、児童館との交流等、地域の他の子どもと活動する機会が多くないこと。</p>	<p>放課後児童クラブや児童館の職員との交流が持てていない。</p>	<p>まず職員間での交流がもてる機会を作り、情報収集やアプローチの方法等を模索していく。</p>
3	<p>保護者会の開催等、保護者同士が交流できる機会が多くなっていくこと。</p>	<p>これまでは感染症対策等に追われ、交流できる場の提供が出来づらいう状況になっていた。</p>	<p>感染症に留意しながら、保護者会等各種イベントの開催に向けて前向きに検討をしていく。また、ペアレント・プログラムへの参加の呼びかけと情報発信を積極的に行っていく。</p>

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきいきっ子クラブ国東（放課後等デイサービス事業）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関等や地域との連携	子ども達が地域でより良い支援を受けられるように、学校や、福祉課等との連携は、常に行ない、会議以外にも情報交換等を行なうようにしている。	福祉と教育の現場が連携することで、子ども達が地域でより良い支援を受けられるようにしていく。会議の場合以外にも、常に連携を取っていく。場合によっては、医療機関とも連携を図り、情報交換を行っていく。
2	保護者への研修等の開催	これまでも、ペアレント・プログラムの研修を行ってきたが、保護者向けへの研修や交流の場を提供できるようにしている。	これからは、保護者向けの研修のほかに、きょうだい児の交流の場の提供に向けて、きょうだい児への支援も考慮した会を設けていきたい。
3	それぞれの子どもにあった、活動プログラムの提供	保育、言語、身体等の多方面から、専門的なアセスメントを行なったうえで、それぞれの子どもに合わせた、活動プログラムの提供を実施し、振り返りを行なっている。より良い療育活動を提供できるように、常に見直しを図っている。	これまでも実施してきたことではあるが、外部や第三者からのアドバイスをいただき、支援のふり返りを行いながら、さらにより良い支援を提供できるようにこれからも邁進していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部への発信力	ホームページなどを通じた発信力が弱い。子ども達の支援だけでなく、安全に関することも併せて、保護者や地域に発信していく必要がある。	定期的に発信できるように、年度初めに取り決めを行ない、利用者や保護者の方が安心して利用できるように計画をしていきたい。
2	チームでの計画書の立案	経験の浅い職員の意見の引き出すことが丁寧にできていない。チームでの計画書の立案を目指していく。	それぞれの専門家の意見も大事にし、それぞれの得意分野を生かして立案を進めていく。発達障がい理解・対応など、経験のある職員からの伝達を行なうことで、お互いがステップアップできるように、配慮していく。
3	長期休暇の生活空間の在り方	長期休暇になると、児童発達支援と放課後等デイサービスを一緒に受け入れることになり、日頃、それぞれの確保されていた生活空間のスペースが確保されず、ご利用時にとっては本来の自分を保てないことがある。	子ども達がそれぞれ有意義な時間を確保できるように、これまで以上に工夫、配慮する必要がある。スケジュールの事前の確認、安心・安全の確保など丁寧にしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業 いきいきっ子クラブ

公表日 年 月 日

利用児童数 13家庭 15名

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1			遊び道具や勉強道具が沢山ありとても充実しているなどと思います。見学へ行った際に、広いスペースで十分に確保されていると感じました。	ありがとうございます。広いスペースを有効に活用し、今後も楽しく相大運動が提供できるように工夫してまいります。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		1	適切な人数が分からないのですが、職員の方も多く、手厚い対応だと思っています。	基本、ご利用児10名に対し2名の職員となっており、丁寧な支援が出来るように人数を多く確保し支援にあたっています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			1	できていると思いますが、実際に見れていないので分かりません、わかりません。出入口のドアが手動でも開くので、少し不安です。(脱走など)	手動で開いてしまいが、必要に応じて鍵をかけられるようにしました。また、職員が常に見守り支援を行っている為、飛び出し等ないように今後も配慮していきます。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				沢山活動するアイテム、設備がそろっていると思います。			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				いろんな分野の支援があり沢山の成長につながりました。先生方一人ひとりが子どもに対して理解し、支援していただいていると感じています。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1				
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13				毎回、十分理解し作成されています。			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13							
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				苦手な事も出来るようになり、すごく成長して驚きました。本当にとても成長しました。細かに計画を立ててくださり、一人ひとりに合った支援を受けられていると思います。			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				1		曜日で目的別に振り分けていますが、前回できなかった事に再度取り組み成功体験となる事もある為、同じ活動をあえて取り入れたり、固定化されないようにしたりと、プログラムは、5割程度に沿って、個に合った内容を取り入れています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		4			現在は、市内のこども園、幼稚園と併用利用されている方が多い為、交流する機会は設けていません。が、公園や図書館等地域の公共施設を活用させてもらうようにしています。また、その他ご希望があれば取り入れていきたいと思っています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13							
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				しっかり説明してくれて、初めてでしたが安心して通わせることができました。			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11				2		年に一回保護者会とペアレントプログラムを開催し、情報交換の場や研修を受けられる機会を設けています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12	1					毎回おたよりで、今日あった事、たくさん頑張った事等、読むのが楽しかったです。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		1				もう少し面談が出来ると良かったかなと思います。なかなか時間がとれずすみません。定期的にモニタリングがあり、そこで様子を詳しく聞けて嬉しいです。	モニタリング時には必ず直接を行っています。その他いつでも面談の時間を設けることができます。ご遠慮なくお知らせください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					とても思います。いつもありがとうございます。		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	1		2			きょうだい同士の交流の機会は現在設けていませんが、保護者同士の交流、情報交換の場として保護者会を開催しています。		

	19	ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				もう一日増やしたいとお願いと、快くすぐに対応してくれました。とても感謝しています。		
	20	ごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1				楽しそうに活動する姿を通信で見ると楽しみにしていました。毎月通信を頂き、皆さんの様子を見るのを楽しみにしています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		1		マニュアルの策定をし、4月にお知らせとしてお手紙を配布しています。また、定期的に火災、地震を想定した避難訓練を行っています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			3	子どもから、「避難訓練したよー」と話してくれることもあり、とても安心しています。	定期的に火災、地震を想定した避難訓練を行っています。また、実際に消防署への通報訓練や職員は年に一回、消火訓練を行っています。	
	25	事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			1		安全計画を毎年策定していますが周知が出来ていない為、周知ができるよう努めています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	まだ、事故(怪我)がないのでわかりません。	事故やケガがあった時は、保護者の方へご連絡をし状況や対応を報告させてもらっています。	
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	13				通い始めの頃は不安がっていましたが、どんどん慣れて楽しく通所していました。お気に入りの先生ができた様とても安心していると思います。とても楽しく通っているようです。個別対応をしてくれ、またたくさん褒めてもらえることで、安心して行っているように感じます。		
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	13				通所コースを通る時、「いつもこの道を通るんだよー」と喜んで話してくれます。週二回通わせてもらっています。「今日いきいきっ子?」「早く行きたい!」と楽しみにしています。いつもありがとうございます。いきいきっ子に行く日を心待ちしているようです。「今日はいきいきっ子?」と毎日のように聞かれ、該当日だとても喜んで準備をしてくれます。とても楽しみに通っていて、親としても安心です。「今日いきいきっ子?」が口癖です。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				大満足しています。通わせて本当に良かったと思います。活動をやる際に、本人のやりたくない事は本人の意見を優先してくれているようで、子どもに寄り添った丁寧な対応にとても満足しています。本当に満足しています。いつもありがとうございます。	ありがとうございます。今後もご利用児にとっていきいきっ子クラブが、自分らしさを大切にしながら成長していける場となるよう、職員一同、より良い支援に努めてまいります。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いきいきっ子クラブ国東（児童発達支援事業）

公表日 2025年 2月 日

利用児童数 7名

回収数 7名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	2		2		子ども達が、過ごしやすい空間であるかどうかを見直し、空間づくりを行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6			1		清潔を心がけている。 活動に合わせて、スペースの取り方を要え、安心して活動できる空間を提示している。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			1		発達の段階や、その年齢等に応じたステージを考慮しながら、支援計画をたて、実行し、見直しを図っている。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6			1		子どもたちが、楽しく活動に参加でき、成長できるように、常に考慮している。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4			3		ご利用児全員が保育所等を併用されているので、現在は特別交流などは設けていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1		1		今後も、ペア・プロの案内や、ご家族向けの研修会などの案内があれば、積極的に情報提供していきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2		2		今年度は、保護者会の開催を行った。 保護者の方より、今後どのような情報を得たいか、どのようなイベントに参加したいかの情報を収集していきたい。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1		3		本事業所や、相談専門員、保健師、保育所等だけの解決が難しいときには、医療機関等への相談も含め、体制は整えている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4			3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。		2		5		毎月のお便りの発信や、自己評価の発信などは行ってきたが、今後はさらに分かりやすく活動の様子なども伝えていきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		3		各マニュアル等をお便り等で、分かりやすく保護者の方へお伝えしていきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		3		訓練等を行っているが、発信不足ではあったので、訓練と発信も併せて行っていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1		4		子どもの安全を第一に考え、その中で、支援内容を組み立てている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4			3		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4			3		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4			3		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いきいき子クラブ国東（児童発達支援事業）			公表日	2025年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		適切である。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		その都度子ども遊びや活動に合わせて、スペースの取り方を工夫している。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		心地よく利用できるように、清潔には心がけている。その日の活動スケジュールに合わせて、環境調整も行っている。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		個別での対応、利用者がクールダウンやリラックスできる空間は、常に確保できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		いつもスタッフ同士がお互いに支援内容のふりかえり、次の目標は何にするかについて常に話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの意見を大切にし、改善に向けて、支援会議を設け、その都度対応している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見を業務改善に向け、大切にしている。	いつでもお互いが、話し合える場は心がけているが、どの職員も意見でき、同じように理解できているか把握できる場は必要であるかもしれない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後の検討課題である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員に向けて研修等受講できる機会を確保している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子どもの日頃の様子を観察したり、園での様子、家庭での様子を伺い、場合によっては保健師や医療機関からのアドバイスも受け、支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の支援の様子等も職員間で意見交換しながら、共通理解したうえで、計画書の作成を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書をもとに、支援内容を工夫し、目的をもって、支援活動を提供できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		形式にとらわれず、日々の子どもの様子を観察し、適切な支援を提供できるようにアセスメントしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		一人一人の子どもに合わせた、支援計画を立てられるように、子どもの観察、家庭状況、地域の資源なども相互的に考慮し、適切な支援を提供できるようにいつも心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で話し合いながら、活動プログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		その日の反省を日々行ないながら、支援内容の工夫を行ない、子ども達に活動を提供している。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		常に集団でのコミュニケーション、個別の療育を組み合わせ、支援計画を立てるようにしている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		常に、職員間で話し合っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		次の日になることもあるが、できるだけ支援終了後にその日の振り返りを行ない、次への支援につなげるようにしている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を丁寧にとり、振り返り時、分かりやすいように工夫している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員間での定期的なモニタリング、保護者や関係機関とのモニタリングを行ない、適切な見直しができるようにしている。		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		状況をよく理解したものが、参加できるようにしている。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域で生活するためには、福祉関係、教育関係の共通理解や情報交換の場が必要である。その会議の場で、役割の確認も行っている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現在は、併用利用の子どもが多いので、各園との情報共有は、しっかりできるようにしていきたい。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		学校へ移行する際は支援内容等について、児童クラブへの情報提供も行い、スムーズな学校生活を送ることができるようにしている。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			施設支援を行うことで、助言を受けるようにしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在は、併用利用の子どもがほとんどで、特別に設けていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時や、モニタリング、電話等で行うようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			研修等の情報提供を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			子どもや保護者からの意見を大切にし、サービスを提供できるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			計画書の説明を行ない、保護者からの同意を受けられるようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			相談があれば、必要な助言や支援を行なうようにしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			今年度は、保護者同士での交流の場を設けたが、来年度からは兄弟児の交流の場についても検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合には、迅速に対応していきたい。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月のお便りの発行は行っている。日々の活動内容までは、発信できていないので、今後の検討課題ではある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには、十分に留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮しているが、保護者の立場で、もっと配慮の必要な部分があれば、改善していきたい。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今年度も秀深まつりを実施し、地域の方々との交流の場を設け、開かれた事業運営を図れるように努めている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルを作成し、訓練等も実施しているが、訓練等は行っているが、発信不足だったので、お便りやホームページなどを利用して、保護者の方への布告に、発信していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人内で委員会を設け、常に会議、訓練等を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		確認し、対応している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメント時に確認し、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内で、委員会を持ち、研修等を行い、外部の研修等への参加も行き、必要な措置を講じて支援を実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者の連絡先の再度確認、ホームページやお便り等で安全計画に基づく取り組み内容について周知を行なう必要がある。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内でヒヤリハットを共有し、同じ事故を起こさないように検討している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内で委員会を設け、講師を呼んで、虐待防止に関する研修会等を開催し、適切な対応ができるように心掛けた。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束がどのような場合発生してしまうのかを検討し、それにあたる場合は計画書に記載するようにしている。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス いきいきっ子クラブ

公表日 年月日

利用児童数 16家庭 18名

回収数 11家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				鉄棒などを動かすこともでき、大変ありがたいです。	ありがとうございます。今後も体を動かす遊びを危険なく提供できるように支援していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1		3		基本、ご利用児10名に対し2名の職員となっていますが、丁寧な支援が出来るように人数を多く確保し支援に当たっています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	1		先生方のいる部屋からは全休は見逃せないで、リスクはあると思います。	職員が全員事務室に入ることなく、目が行き届くようにしていますが、気を付けていく必要があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				子どものことを理解して、寄り添っていただき感謝しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		支援プログラムをホームページに掲載しています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		5領域に沿った活動を毎日取り入れています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		2	児童クラブとの交流は良い機会になるので、これからもお願いします。	長期休暇に児童クラブとの交流会を行っています。今後も継続して続けていきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			1		5領域に沿った活動と、個別での活動、集団での活動と分けて支援をしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2		1		年に一度保護者を開催し、情報交換の場をもちけたり、ペアレントプログラムを開催することで、研修できる機会を設けています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	8	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2		1		モニタリングの時期に、保護者の方には、お話できる時間をつくっていただき、面談させてもらっています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	3				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8			2		きょうだい向けのイベントは現在行っていないですが、保護者会を開催し、交流の場がもてるようにしています。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1		2		契約時に相談窓口や苦情受付の説明をさせてもらっています。相談があった場合に、職員で検討、対応を話し合いお返事させてもらっています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1		1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			2	マニュアルの策定をし、4月にお知らせとしてお手紙を配布しています。また、定期的に火災、地震を想定した避難訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			3	安全計画を毎年策定していますが周知が出来ていない為、周知ができるよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			2	事故やケガがあった時は、保護者の方へご連絡をし状況や対応を報告させてもらっています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			1	いつも楽しみにしていて、毎日楽しそうです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1		1	「行きたくない」と言ったことがなく、のびのびと楽しそうです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10			1	気持ちの切り替えがスムーズになってきて、先生方のおかげです。 ありがとうございます。。今後もご利用児にとっていきいきクラブが、自分らしさを大切にしながら自立していき、また、保護者の方のサポートができるよう、職員一同、より良い支援に努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
いきいき子クラブ国東（放課後等デイサービス事業）		2025年2月				10名	9名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7		1	1	狭いと感じるが、精いっぱいやっていると思っている。	子どもにとって、安心できるスペースの確保をし、長時間の利用日には、散歩や広場や公園等で、体力づくりを行っている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7				2	その都度、その空間が、子ども達にとって過ごしやすいものかを検討しているが、トイレの段差は気になるが、構造上修復は難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1		1		地域の児童クラブとの併用など行ない、放課後の利用の仕方を見直していく。その際、地域で楽しく過ごせるようにコミュニケーション等の療育プログラムを組み、利用頻度を調整しながら、無理なく移行を進めていく。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			1		その日のスケジュールの中で、子ども達に必要な療育活動のプログラム作りを行っている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4				5	他の事業所と交流を図ることは行ってきた。今年度は、児童クラブとの交流も検討はしたが、実現できていない。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7				2	これからは、積極的に、保護者向けの研修会などの情報提供をしていきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8				1	送迎やモニタリングの際に、保護者の困りなどを聞くようにしているが、それがタイムリーでないこともあるかもしれない。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7				2	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1			2	今年度、数年ぶりに保護者会を開催することができたが、来年度からの課題に兄弟児向けのイベントも提供できるように考えていきたい。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7			2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1		2	毎月のお便りや、自己評価等は、ホームページで公表してきたが、これからは、もっと活動内容等を詳細に発信していきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			3	利用者は、もちろんのこと、保護者に向けても分かりやすく、お便りなどを通じて、お知らせしていきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7			2	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7			2	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7			2	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いきいきっ子クラブむさし

公表日 年月日

利用児童数 2025年1月31日 16名

回収数 16

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3			・もう少し広くても良いかなと思う。 ・思います。 ・長期休暇の時に、狭そうに見える。	・利用者さんが活動をしやすいように限りあるスペースを有効活用できるように環境調整を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		1	・実際どうなのかわかりません。先生方の負担がないようにして下さい。 ・思います	・現在の職員数にて、基準を十分満たしておりますので継続してより良い支援を行ってまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			1	・思います	・分かりやすい構造化やバリアフリーについては常に職員間で話し合い、環境調整を行ってまいります。変更の際は伝達をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1	・工夫されていると思います。	・利用者さんの活動に合わせた空間作りを意識しています。 ・令和7年2月に空調、照明入れ替え工事をいたしまして、より心地よく過ごせる空間となっております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				・思います。	・個別支援会議やモニタリング等で利用者さんの特性に応じた支援について常に考えて専門的な支援につながるようしております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			2	・思います。	・公表している支援プログラムに沿って個別支援計画等を作成しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				・思います。	・半年に一度見直しを行い、保護者や支援者に聞き取りをしながらその都度計画の作成をしております。また、計画内容については職員間で情報共有しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			2	・思います。	・計画には「放課後等デイサービスの提供すべき支援」を意識して、子どもたちの特性に応じて必要な項目、支援内容を設定しています
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			2	・思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		1	・集団や個別での活動や支援を子どもの状態に応じて柔軟に行って下さっている。 ・思います。 ・長期休暇時に外へ活動してくれるので助かっています。	・活動についても、より良い活動内容を考えながら、固定化されないよう工夫して実施しております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		7	・地域のイベントなどに参加して、交流の機会を持ってきている。 ・週1回の利用なのでわからない	・地域のイベントに参加をして、交流ができるように工夫しております。
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				・ありました	・ご契約時にご説明をさせていただいております。ご質問等ありました、お気軽にねなくお尋ねください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	2			・ありました。	・個別支援計画の作成時にご説明をさせていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1		2	・可能であれば以前のような親子イベント的なものであれば、参加者が増えないかなと感じました。	・今後も研修等の情報提供は行っています。親子イベントにつきましては、今後検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	1			・毎日の様子や気になることを丁寧に伝えて下さり感謝しています。 ・送迎時に出会えないこともあるので、情報交換の工夫があると共通理解がより良くなると思います。 ・丁寧に伝えてくれます。	・送迎時に出会えない時は、電話での連絡を今後も行い、保護者の方と情報共有を心掛けていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2		1	・面談があります。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				・思います。	・保護者様やご利用児の、意向や気持ちを汲み取りながら支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	1	4	・保護者同士の交流の場があり、とてもありがたいです。兄弟向けは必要性を感じていないので、これまで通り無くても良いと思う。 ・保護者会の参加とても勉強になりました。また、参加したいです。 ・兄弟向けイベントというのが、よく分かりませんでした。	・保護者会は、今後も開催をしたいと考えています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		2	・対応されています。	・
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			・思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1			・時々拝見しています。	・毎月の広報誌やホームページにて発信をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16				・思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13		1	2	・実施してくれていて助かります。	・各種マニュアルの策定、また非常時の対応につきましては、保護者様へ書面にてお知らせをしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			1	・定期的にして助けて助かります。	・毎月避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			1	・思います。	・安全計画を毎年作成し、年度初めに書面にてお知らせをしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	15			1	・すぐ連絡があります。	・事故が発生した場合には、保護者様への連絡は怠らないように徹底しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16				・落ち着いて安心して通所しています。	・今後も安心感のもてる事業所を目指して支援や環境調整を行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16				・大好きです ・本当にすごく楽しめています。 ・とても楽しみにしています。	・利用者さんが、安心して楽しめるように支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・とても満足しています。今後ともよろしく願います。 ・いつもありがとうございます。 ・皆さんがやさしいので安心して通えています。 ・大満足しています。	・たくさんのご意見、ご感想ありがとうございます。これからも現状に満足することなく、常に支援の質の向上に努めてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス いきいきっ子クラブ		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		特性に応じて個室を利用するなどの柔軟な対応ができるようにしています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		長期休暇では児童発達支援事業と放課後等デイサービスの時間が一緒になる為、ボランティアさんやアルバイトをお願いし対応をしています。配慮が必要なお子さんには個別対応が可能な人員配置をとっています。	おむね適切ではあるが、長期休暇は環境的に難しいことがあります。今後も長期休暇時はアルバイトをお願いしたり、地域交流の意味も含めボランティアさんを募集したりして対応していきたいです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		安心して利用が出来るよう、視覚支援を適切に行っています。また、華美にならないようにしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		清潔に保つことを心掛けて、毎日、清掃や整理整頓を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別の部屋を確保したり、カーテンやパーテーションで区切ったりすることで落ち着いた活動に取り組めるよう配慮しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		職種に関わらず、定期的な会議をもち、取り組んでいます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に一度保護者の方に評価表の記入をお願いし、業務改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的に情報共有やモニタリングの会議を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内で年三回研修を行っています。また業務調整を行い、外部の研修にも参加をしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者や各関係機関(学校、医療)とも情報を共有しながらよりタイムリーな支援を心掛けています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		モニタリング会議の時間を設け、様子を話し合い、意見を出し合うことで、より良い支援計画の作成や共通理解ができるようにしています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		全職員が目標を常に意識して支援できるように、業務日誌の書式を検討したり、モニタリング用紙を変更したりと工夫をしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		発達検査等の情報を参考に、目標に沿った支援を行っています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		広い視野でご利用児に必要な支援が行えるよう、ガイドラインの内容を踏まえながら、具体的に支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	日々の療育内容は担当を決め、決定しています。長期休暇の活動は会議を設け、チームで立案しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員全体で個別にPDCAを行うことでご利用児にあったプログラムを再構築しています。固定した活動と目的に応じて活動内容を変更しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別療育として、身の回りの課題、専門実施の導入(相大、微細運動、姿勢保持等)をとりいれています。集団療育として、友達との関わり、活動への参加、余暇活動の過ごし方の選択を取り入れています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		その日の活動の支援内容までは共有が出来ていないこともある為、改善が必要です。児童発達支援事業の終了後、放課後等デイサービス開始前に打ち合わせが出来る時間の確保ができるよう検討します。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			勤務形態や送迎等の理由で、支援終了後の打ち合わせが難しい時は、翌日に申し送りをして情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			個々の目標、課題を意識して、その日の様子、対応、反応等を記録しています。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			多くの視点から観察、モニタリングを行い、実感や成長に照らし合わせて見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			スケジュールを決めているが、無理強いはせず選択し、自己決定できる環境を提供しています。「する」「しない」の意思を伝えられるように声掛けをしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			ご利用児を多面的に捉えるため、各関係機関との連携は積極的に行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			学校からの協力のもと、タイムリーな情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			ご利用児が安心して利用ができるよう丁寧な引き継ぎを心掛けています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			情報提供書を作成したり、保護者のご意向があれば情報提供の会議を設けています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			必要に応じて迅速な対応をし、助言を仰いでいます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8			長期休暇を利用して、定期的な交流の場を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8			送迎時、お迎え時に様子をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			保護者会の開催時に情報交換の場と研修の機会を設けています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			保護者にアセスメントの記入をお願いし、作成後は保護者の承認をもらっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			職員間で情報共有を行い、支援方法を検討して助言を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		年に一回保護者会を開催しています。きょうだい同士の交流の場はニーズを感じておらず、今後の開催についても検討中です。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		職員間で情報共有し、確認を行い対応について話し合いをして対応させてもらっています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月おたよりを発行しています。日々の活動の様子と活動の目的も含めてお知らせできるよう工夫しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		十分留意しています。おたよりの写真も、事前に保護者に承諾をいただき掲載しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	今年度はむさし駐在所の方にお話に来ていただきました。また、コロナウイルス感染拡大防止のため開催出来ていなかった秀溪まつりを、今年度開催する予定です。地域住民との交流の機会を設け、地域に開かれた事業運営が図れるよう努めています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		火災、地震に備えた避難訓練をおこなっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		安全計画は作成していますが、周知が出来ていないため、お手紙等で周知できるよう検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		危険行為があった時やヒヤリハットの事象が生じたときには、随時職員間で共有し、再発防止を検討、対応するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止啓発の為のポスターを作成し、各事業所の掲示することで注意喚起を促しています。また、法人内で研修をおこなったり、チェックリストをおこなっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いきいき子育てクラブ国東（放課後等デイサービス事業）				公表日	2025年 2月
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		長期休暇などは、公園等に遊びに行くなど、双方に無理がいかないようにスペースの取り方を工夫している。もしくは異年齢の交流をするなどその日の目的をもって支援内容を組み立てている。	平日などは、十分なスペースは確保できるが、長期休暇になると、児童と放デイの利用児を一緒に受け入れることになるので、いつも利用しているスペースの取り方が難しくなっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		その都度子ども遊びや活動に合わせて、スペースの取り方を工夫している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		心地よく利用できるように、清潔には心がけている。その日の活動スケジュールに合わせて、環境調整も行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別での対応、利用者がクールダウンやリラクセスできる空間は、常に確保できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		いつもスタッフ同士がお互いに支援内容のふりかえり、次の目標は何にするかについて常に話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの意見を大切に、改善に向けて、支援会議を設け、その都度対応している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見を業務改善に向け、大切にしている。	いつでもお互いが、話し合える場を心がけているが、どの職員も意見でき、同じように理解できているか把握できる場は必要であるかもしれない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後の検討課題である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員に向けて研修等受講できる機会を確保している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもの日頃の様子を観察したり、園での様子、家庭での様子を伺い、場合によっては保健師や医療機関からのアドバイスも受け、支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の支援の様子等も職員間で意見交換しながら、共通理解したうえで、計画書の作成を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書をもとに、支援内容を工夫し、目的をもって、支援活動を提供できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		形式にとらわれず、日々の子どもの様子を観察し、適切な支援を提供できるようにアセスメントしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		一人一人の子どもに合わせた、支援計画を立てられるように、子どもの観察、家庭状況、地域の資源なども相互的に考慮し、適切な支援を提供できるようにいつも心がけている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で話し合いながら、活動プログラムの立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		その日の反省を日々行ないながら、支援の工夫を行ない、子ども達へ活動を提供している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		常に集団でのコミュニケーション、個別の療育を組み合わせ、支援計画を立てるようにしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		常に、職員間で話し合っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		次の日になることもあるが、できるだけ支援終了後にその日の振り返りを行ない、次への支援につなげるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を丁寧にとり、振り返り時、分かりやすいように工夫している。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員間での定期的なモニタリング、保護者や関係機関とのモニタリングを行ない、適切な見直しができるようにしている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」を念頭に置き、組み合わせ活動を提供している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもが、自分で決めることを大切に、情報提供・活動の提供を行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		子どもの状況をよく理解したものが参加するようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域で生活するためには、福祉関係、教育関係の共通理解や情報交換が必要である。その会議の場で、役割の確認も行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校とは直接的にやり取りしており、内容によっては、保護者や相談専門員と一緒に情報共有できるようにしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		各関係機関と、情報共有できるように努めている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		これから、そのような情報提供も行っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		施設支援等で、外部の専門機関からアドバイスを受けるようにしている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		他の放デイの子ども達との交流は行ってきた。子ども連や保護者からの希望があれば、今後も検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人内の相談専門員が参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や、モニタリング等で、話すようにはしているが、これからはもっと密にしていける必要がある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアプロなどの研修、保護者会等で研修の機会などを設けてきた。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用時に説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者からの意見を大切にし、サービスを提供できるようにしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書の説明を行ない、保護者からの同意を受けられるようにしている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があれば、必要な助言や支援を行なうようにしている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			今年度は、保護者同士の交流の場を設けたが、来年度からはきょうだいの交流の場についても検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合には、迅速に対応していきたい。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月のお便りの発行は行っている。日々の活動内容までは、発信できていないので、今後の検討課題ではある。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには、十分に留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮しているが、保護者の立場で、もっと配慮の必要な部分があれば、改善していきたい。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今年も秀溪まつりを実施し、地域の方々との交流の場を設け、開かれた事業運営を図れるように努めている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルを作成し訓練等も実施しているが、発信不足だったので、お便りやホームページなどを利用して、保護者の方へも丁寧に、発信していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人内で委員会を設け、常に会議、訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		確認し、対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメント時に確認し、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内で、委員会を持ち、研修等を行い、外部の研修等への参加も行った必要な措置を講じて、支援を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者の連絡先の再度確認、ホームページやお便り等で安全計画に基づく取り組み内容について周知を行なう必要がある。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内でヒヤリハットを共有し、同じ事故を起こさないように検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内で委員会を設け、講師を呼んで、虐待防止に関する研修会等を開催し、適切な対応ができるように心掛けた。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束がどのような場合発生してしまうのかを検討し、それにあたる場合は計画書に記載するようになっている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いきいきっ子クラブむさし				公表日	年	月	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・限りある空間を有効活用している。絵本コーナーや、学習スペースの確保をしている。	・今後も有効スペースの確保のために、職員間で話し合いを実施していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			・配置基準は満たしているものの送迎時に、職員が手薄になってしまわないように、送迎ルートの見直し、送迎時間の調整を実施していきたい。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		・段差がある場所があり、簡易のスロープの設置をしたい。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・清潔に保てるように整理整頓や清掃は、毎日行っている。 ・清潔に過ごせるように清掃を心掛けている。	・現状の空間を有効活用できるように話し合い、デッドスペース等でできないようにしていく。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別活動を実施する場・クールダウンする場としての部屋を準備している。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・職員会議や朝の申し送りに職員が参加しています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員の意見が出やすい環境づくりをしている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		・第三者評価は導入していないが、法人内の他施設職員にアドバイスを頂いている。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・積極的に参加している。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・半年に必ず1度行っている。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員間で、モニタリング、支援会議にて多くの職員の意見を聞くことで、子どもの最善の利益を考えている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・担当を中心に、多くの職員が関われるように、チームで検討している。				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・職員同士で週毎に担当を決めることにより、固定化しないよう活動を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼時にて、その日の活動の話し合いをし連携の確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・必ずではなく必要に応じて情報共有をしている。 ・朝礼で共有	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・半年に一度実施している。 ・必要に応じて、時間を作りモニタリングの話し合いをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・送迎時に情報共有をしている。また学校での支援の様子を見学させてもらっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・地域の研修に積極的に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・地域のイベントへの参加	・地域イベントの情報収集を行っていく。 ・児童クラブとの関りをもてる場を模索していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	・協議会に子ども部会がないため、協議会が開催する研修等以外で参加することは少ない。	・法人内の相談支援事業所が協議会事務局となっているため、協議会等に要望してほしいことがある場合は、相談支援事業所に伝えている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・日々の送迎時に保護者へ伝えている。また、場合によっては、電話で伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・保護者会を行い、情報提供等をしている。 ・ペアプロ参加の呼びかけをしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・送迎時やモニタリングを通して家庭での困りや悩みを聞き、職員間で共有し対応している。		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者会の開催 ・年に1回ほど保護者会を行い、グループに分かれての交流する機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・月に1度広報誌を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報については、鍵のかかるキャビネットに保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・利用者や地域向けのイベントを開催予定。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・月に1回避難訓練を行っている。 ・マニュアルの職員間共有、法人内各委員会への参加をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・職員間で情報共有し、給食の注文の際は除去をお願いしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・法人内の虐待防止委員会、研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				